

コシヒカリ生育速報 第1号

令和 7 年 6 月 11 日
魚沼農業普及指導センター
電話：025-792-1309

田植後 25 日に茎数を確認し、田植後 30 日までに中干し開始！

【6 月 10 日生育状況】（管内 9 か所平均、平均田植日 5/20）

草丈(cm)		茎数（本/㎡）		葉数（葉）		葉色（SPAD）	
本年	指標値比	本年	指標値比	本年	指標値差	本年	指標値差
30	106%	144	88%	6.1	±0.0	33.9	-0.6

○ 指標値比較【草丈：やや長い 茎数：少ない 葉数：並み 葉色：並み】

茎数は、ほ場差が大きいが、葉数の進展に応じた分げつの発生が見られる。

- 1 か月予報（6/5 新潟地方気象台発表）では、向こう 1 か月間の気温は、高い確率が 80%で、期間の前半は気温がかなり高い見込み。今後、急激な草丈伸長と茎数増加が予想される。

【今後の管理のポイント】

1 中干しまでの水管理

- （1）浅水管理（2～3cm）で地温を高め、分げつの発生を促す。
- （2）ワキの発生が多い場合は、水の更新や夜間落水によるガス抜きをする。

2 田植後 25 日頃に生育を確認し、田植後 30 日までに中干し開始！

- （1）茎数が「中干し開始のめやす」に達したら、直ちに中干しを開始する。

中干し開始時期のめやす※	㎡当たり	株当たり
	270 本	（50 株植え） 18 本
		（60 株植え） 15 本

※中干し開始時期のめやす → 茎数が目標穂数（㎡当たり 350 本）の 80%に達した時

- （2）中干しの遅れは、籾数過剰や、倒伏につながり品質低下の要因となるため、遅れずに実施する。
- （3）茎数が中干し開始のめやすに達しない場合であっても、根の健全化を図るため田植え後 30 日には中干しを開始する。

3 溝切りは必ず実施！

中干しの効果を高め、フェーン等の異常高温時にすみやかにかん水できるように溝切りは必ず行う。

4 病虫害対策 補植苗の除去、農道・畦畔の除草の徹底

- （1）補植苗はいもち病の伝染源となるので、すみやかに除去する。
- （2）斑点米カメムシ類の発生を抑えるため、畦畔・農道の除草を徹底する。
- （3）刈った草は用水や河川に流さないように注意する。

農作業時の熱中症に注意しましょう。こまめな水分・塩分の補給や休憩が大切です。

次回発行
6 月 20 日